

今回咲いたひまわりの品種は？



今回の品種は、「ハイブリットサンフラワー」です。
景観用として開発され、倒伏に強く、草丈150cm前後、花径30cmくらいの大輪のひまわりです。

大きく育てるためのポイントは？

間引きがポイント！

間引きしないと、株同士の間隔が狭くなり、日当たりが悪くなったり、肥料が行き渡らなくなったりします。

また、風通しが悪くなることで病気や害虫の被害にあいやすくなります。



ボランティアの方々からのコメント

松沼 均さん 「ひまわりを咲かせ、花見をしたい。」ということが始まりでした。経験のない作業で大変でしたが、咲く花を想像しながら楽しむことができました。異常気象下でもよく咲き、生命力の逞しさを感じました。JA、行政の方にもお世話になりました。

青柳竹男さん 一粒の種から想像もつかないとても雄大な夏のひまわり。管理作業は暑く大変でしたが、ひまわり全体がこちらを向いていると気分が爽快になり、猛暑の夏も乗り切れました。

藤沼政雄さん コロナウイルス、天候不順など心配が絶えない中、ひまわりの色彩や、かなり凛々しい姿に心が癒やされ、勇気づけられた思いです。暑い中、マスクをつけての作業でしたが、楽しくボランティアに参加できたことは自分にとって良い思い出となりました。

渡辺高敏さん 5月下旬にひまわりの種をまき、7月から8月に大きな花を咲かせ、多くの人たちの一時の癒やしになったのではないかと思います。これからは、ひまわりの大きな花が町の活性化につながれば良いと思います。

中川一郎さん 大輪のひまわりが咲き競った瞬間は、見応えがありました。咲かせた側はもちろん、見る側も一服の清涼剤となったと思います。



コロナ時代を明るく照らす太陽となれ



※通信費は、個人負担となります。

○町公式ホームページ

れるスポットができればと意気込みがありました。
来年もきれいな花を咲かせることを楽しみにしてください。
今年の生長記録は、町公式ホームページで公開していますので、ぜひ、ご覧ください。

8月上旬、小手指地先に植えられたひまわりが見頃を迎えています。
キク科ヒマワリ属は、北アメリカ原産の一年草で、漢字では「向日葵」と書き、別名を「日輪草」、英語で「サンフラワー」、太陽と切っても切れない夏の花です。オレンジや黄色い花のイメージですが、黒や茶色の品種などもあります。咲き方も一重や八重、花の大きさは、小輪や大輪など多種多様です。
新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が出され、外出自粛などによりステイホームを余儀なくされ、気持的にも日本中が落ち込んでいました。そうした中、5月26日に地元ボランティアの方々から「いっぱい咲くひまわりを見て笑顔になってほしい。」「周辺の景観の改善につなげよう。」という願いを込め、小手指地先にひまわりの種をまきました。
6月1日には芽が出て、順調に大きく生長していきましたが、ここまで大きく生長するまでは、蒸し暑い時期の中、地元ボランティアの方々、間引きや除草剤散布を実施するなど精魂込めて育てた結果です。
ボランティアの方々からは、もう少しボランティアの人数が増え、他の地域でもひまわりが見